

中期経営計画

～本業支援業の確立に向けて～

計画期間：2021年4月～2024年3月



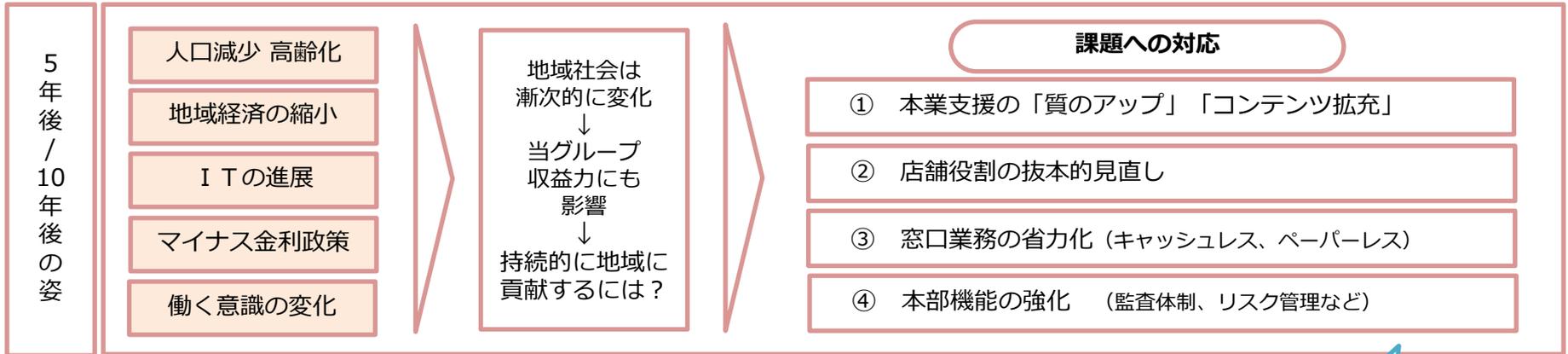
目次

1. 経営環境 ～ 5年後、10年後の銀行のあり方	・・・	3
2. 経営理念と目指す姿	・・・	4
3. 計画の基本方針と施策		
(1) 本業支援	・・・	5
(2) アライアンス	・・・	6
(3) DX	・・・	7
(4) 効率化	・・・	8
(5) 経営管理	・・・	9

2. 経営環境 ～5年後、10年後の銀行のあり方～

これからの銀行の姿

▶山形県の人口減少や高齢化などにより地域経済の縮小が進むと予想され、企業の稼ぐ力の強化への経営資源集中が必要



コロナ禍
何が変わったか

5年、10年後の想定社会が一気に到来
+
行動パターン急変（生命第一、非対面、非接触、分散）

変革
まったなし

世界経済の大失速

格差の拡大

働き方が急変

IT/DXの加速

意識・様式の急変（非対面 非接触 分散）

生命第一

新型コロナウイルス

当行の取るべき戦略・方向性：「じもと」にとって当行が必要不可欠な存在になること

地域経済を支える企業の稼ぐ力を強化＝企業の営業CF改善に向けた持続的な取組み

当行の経営資源を中小企業に集中するとともに、さらなる効率化を進め経営基盤を確立

2. 経営理念と目指す姿

経営理念

➢ 本業支援を通して地域の「中小企業」と「そこに働いている従業員の皆さま」から喜んでいただき地域と共に生きること。

目指す姿

➢ 「本業支援業の確立」を通じて経営理念を実現し、地域と共に生きる



3. 計画の基本方針と施策

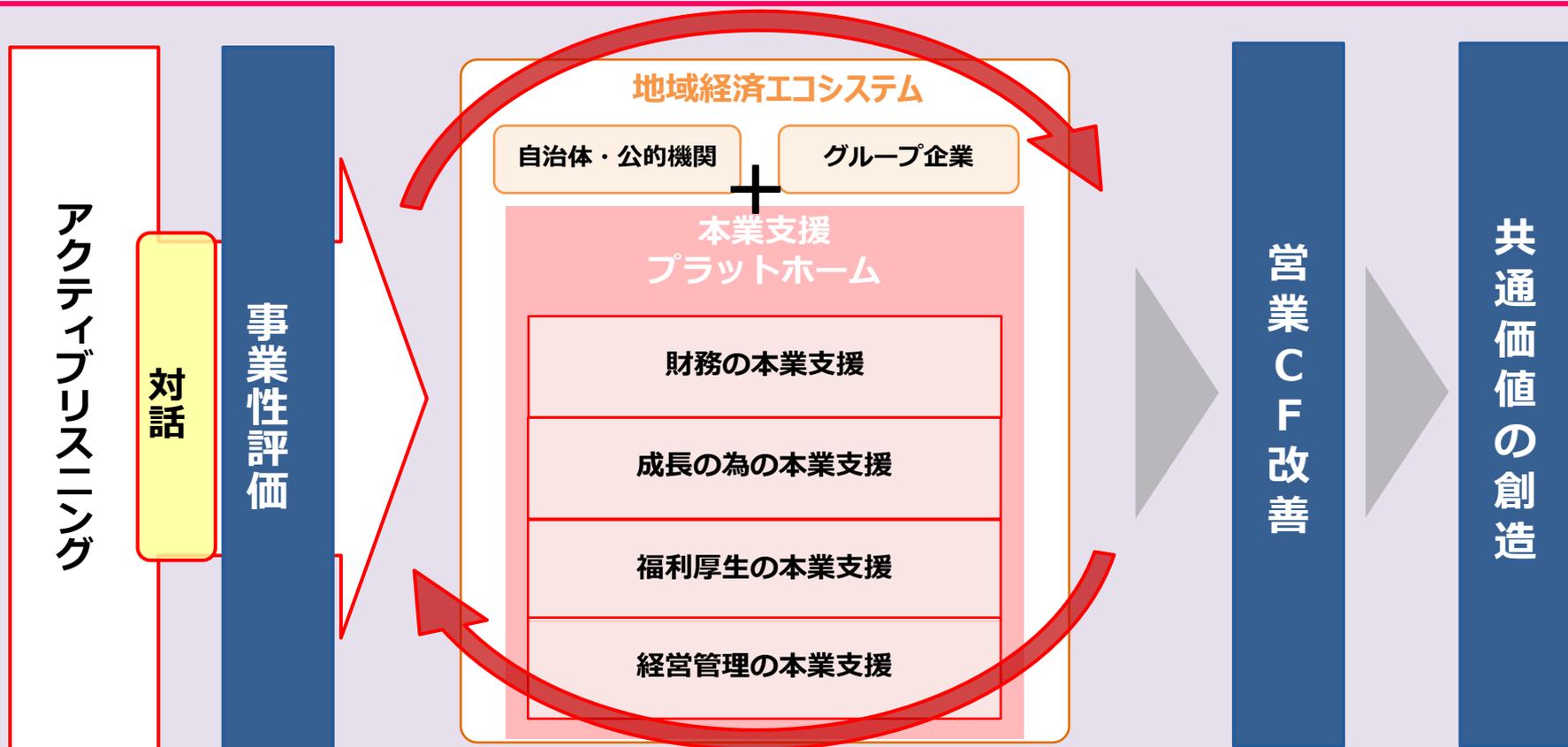
(1) 本業支援

■ 本業支援戦略

当行がすべきこと = お客様の稼ぐ力の強化に向けた組織的・継続的な取り組み

地域経済エコシステムの「好循環ループ」の実現

当行による中小企業のお客様の営業CFの組織的・継続的な改善への取り組みが起点となり、お客様の業績、従業員の皆さまの所得、雇用がプラスに働き、その結果新たな設備需要、消費行動が促されることで地域経済が活性化すること。



3. 計画の基本方針と施策

(2) アライアンス

■SBIグループとの連携

- ・各施策において、様々な視点からSBIグループとの連携を検討してまいります。

今後の業務提携について



3. 計画の基本方針と施策

(3) D X

- 本業支援やお客さまの利便性につながるDXを積極推進してまいります。
- 行内の業務効率化やコロナ禍の環境に合致したDXの取組みを行ってまいります。

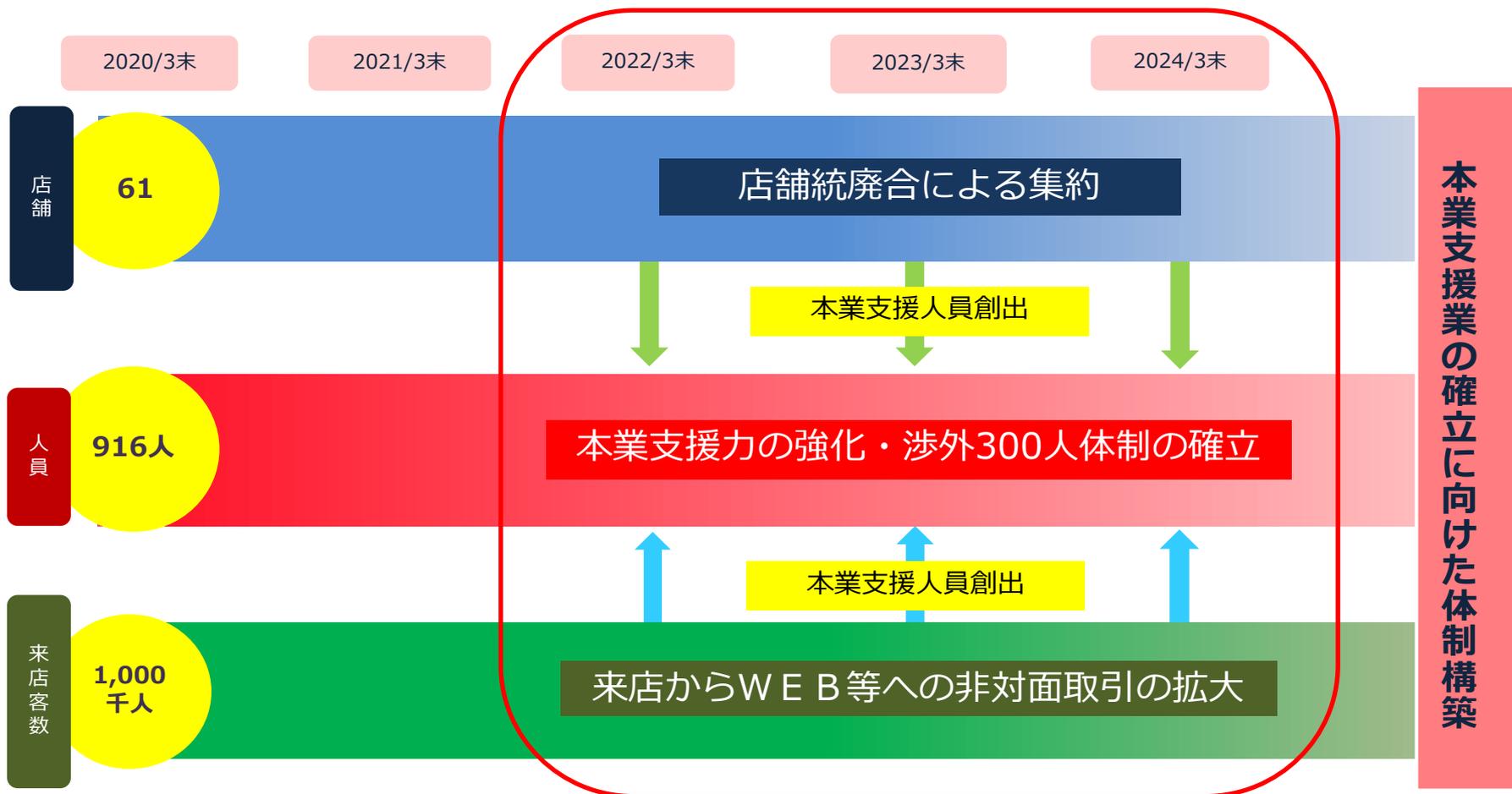
	基本戦略	SBIグループとの連携
本業支援	デジタルチャネルの強化 ビッグデータ活用	① SBIアプリバンキングを利用した機能追加 ② eKYC（本人確認）導入 ③ SBIビッグデータ室のデータ分析、ノウハウの共有。
	最新ICT技術情報の取り込み	① ビジネスマッチング ② ネット販路拡大
	既存インフラの見直し	① SBIアプリバンキング
顧客利便性の向上	① ○○ペイとの連携拡大 ② SuicaやWAON等の交通系・小売系との連携 ③ ローソン銀行との連携	① money tap （加盟行間の無料送金）
効率化	① タブレット導入によるテレワーク・モバイルワーク実現 ② WEB会議との連携 ③ ペーパーレス ④ ワークフロー・電子稟議	① 承認タイム （ワークフローシステム）

3. 計画の基本方針と施策

(4) 効率化

■ 効率化戦略

- 店舗の効率化、非対面取引の拡大、人員適正化を一体で進め、効率化とともに経営資源を集中
- 創出された人員を法人渉外担当に再配置し本業支援力を強化してまいります。



3. 計画の基本方針と施策

(5) 経営管理

■ガバナンス（リスク管理態勢）

